

お客さま本位の業務運営に関する
取組方針および取組状況について

令和7年9月

但馬銀行
TAJIMA BANK

はじめに

株式会社但馬銀行は、お客様の資産運用・資産形成に関する業務において、お客様本位の取組みを実践するため、金融庁の「顧客本位の業務運営に関する原則」（以下「金融庁の原則」といいます。）に基づき、「お客様本位の業務運営に関する基本方針」（以下「基本方針」といいます。）を制定のうえ、基本方針に基づく取組方針および取組状況を定期的に公表しております。

今般、当行の基本方針に基づく取組方針および取組状況を公表いたしましたのでお知らせいたします。

今後につきましても、基本方針に則りお客様に満足いただける商品・サービスの提供に努めてまいります。

【基本方針】

1. 商品ラインナップの充実
2. お客様の立場に立った情報提供やコンサルティングの実践
3. お客様本位の態勢整備

【目 次】

取組方針 1. お客様の最善の利益の追求	…	P 3
取組方針 2. 手数料等の明確化、重要な情報の分かりやすい提供	…	P 1 5
取組方針 3. お客様にふさわしい金融商品・サービスの提供	…	P 1 9
取組方針 4. 利益相反の適切な管理	…	P 2 4
取組方針 5. 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等	…	P 2 8

取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

当行では、お客様が目指すゴールの実現と中長期的な資産形成を「最善の利益」であると考え、お客様一人ひとりの「最善の利益」を勘案・追求することに努めてまいります。

また、お客様のライフステージやニーズ・課題に応じて、誠実・公正にお客様に寄り添い、商品提案やフォローアップなどを通じて、適切な情報提供を行うとともに、時にお客様に資産形成・運用の見直しをご案内するなど、お客様にとって最適な商品・サービスを提供してまいります。

<取組状況>

- ・「中期経営計画」（令和5年度～7年度）において、主要施策として「ライフサイクル・顧客ニーズに応じた資産形成支援」を掲げ、ライフステージに応じて、事業承継、相続対策、退職金運用、長期資産形成など、お客様のニーズを踏まえた提案により、お客様の利益に適う資産形成を支援してまいります。

- ・資産形成または資産運用をご希望のお客様に対しては、新たに制定した「たんぎんで資産運用について考えてみませんか？」を活用して、具体的な金融商品の募集や勧誘を行う前に、運用期間や方針などお客様のご意向を十分に確認のうえ、商品分野毎の特徴や主なりスク・コスト等を横断的に説明するなど、お客様にとって最適な商品を選択いただけるよう情報提供に努めております。

- ・お客様の安定的な資産形成に有効な投資信託自動積立やNISA等の活用をご提案しており、投資信託の残高、投資信託自動積立の年間振替額、契約先数は着実に増加しています。

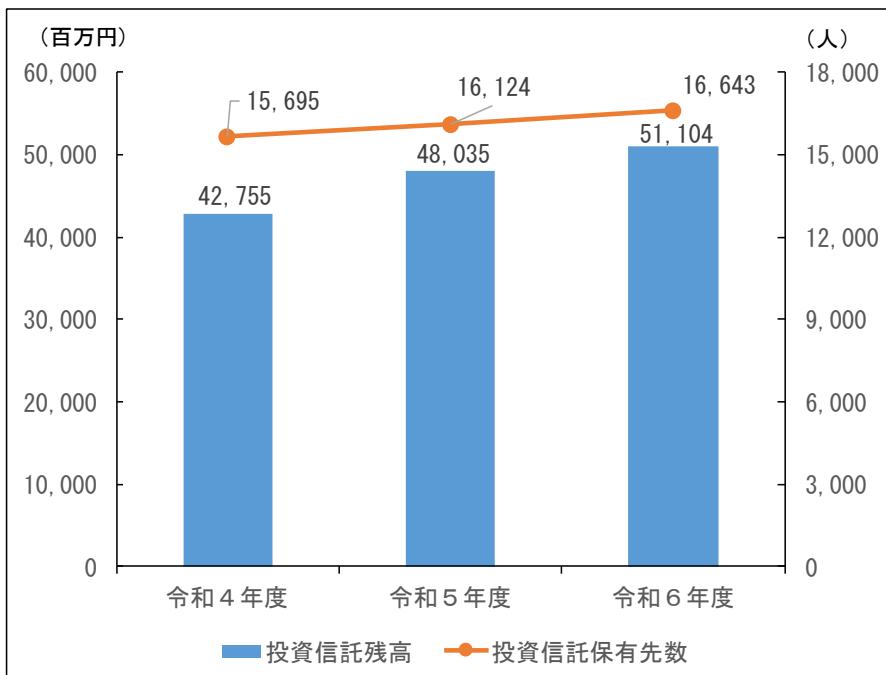
今後もこのような取組みを継続して推進し、お客様の最善の利益の追求に努めてまいります。

取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

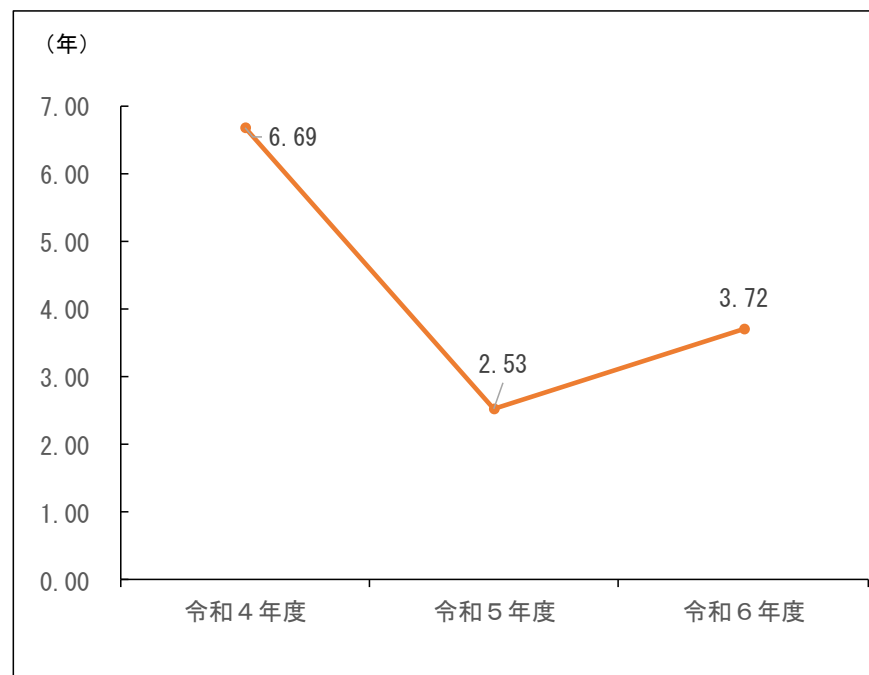
① 投資信託の残高・保有先数、平均保有期間

- ・お客様の安定的な資産形成に有効な投資信託自動積立やNISA等の活用により、投資信託の残高・保有先数は増加基調にあります。
- ・令和6年度においては、株式相場の上昇等を背景として利益確定売りによる解約が見られたものの、平均保有期間は3.72年と改善されました。

【投資信託の残高・保有先数】



【投資信託の平均保有期間】



※金融庁が公表した以下の算式で算出しています。

平均保有期間

= (前年度末残高 + 年度末残高) ÷ 2 ÷ 年間解約額 (償還含む)

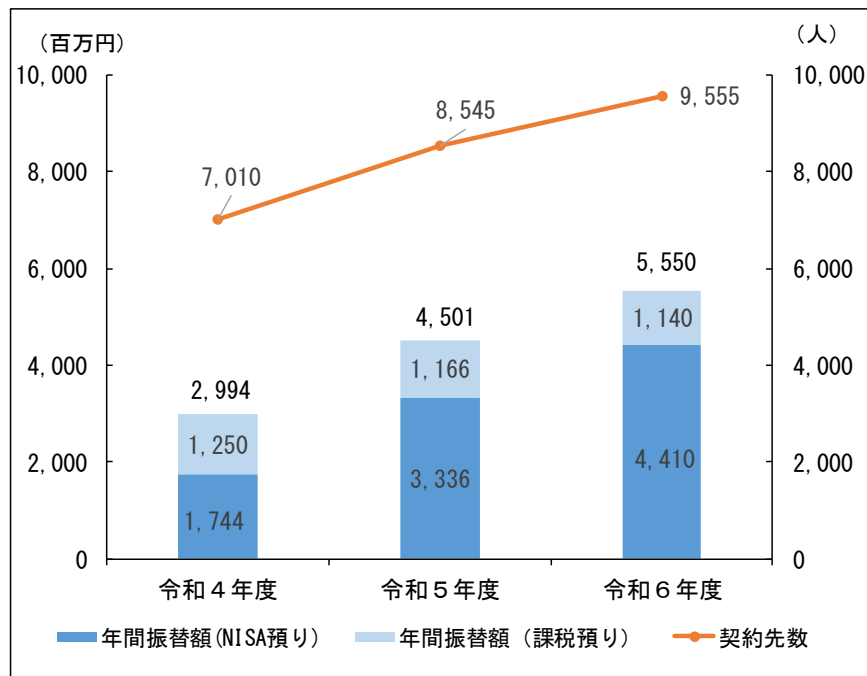
取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

② 投資信託自動積立（年間振替額・契約先数）、NISA残高・口座数

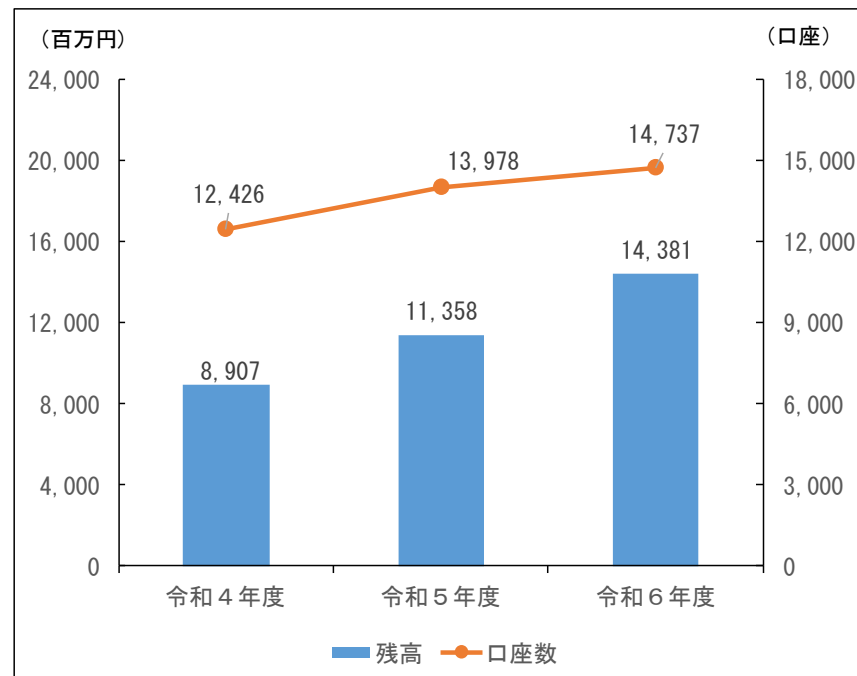
・資産形成ニーズのあるお客さまに対して、中長期的な資産形成提案を積極的に実践した結果、投資信託自動積立にかかる振替額・契約先数は増加基調にあります。

また、NISA残高・口座数につきましても着実に増加しております。

【投資信託自動積立（年間振替額・契約先数）】



【NISA残高・口座数】



取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

【指標（投資信託の共通KPI）】

投資信託の共通KPIの内容

1. 運用損益別顧客比率

投資信託を保有されているお客様について、基準日時点の保有投資信託にかかる購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別に顧客比率を示した指標です。

個々のお客様が保有されている投資信託について、購入時以降どのくらいのリターンが生じているかを見ることができます。

2. 預り残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン

設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄について、銘柄毎および預り残高加重平均のコストとリターンの関係、リスクとリターンの関係を示した指標です。

中長期的に、商品のリスク・コストに比べて、どのようなリターン実績を持つ商品をお客様に提供してきたかを見ることができます。

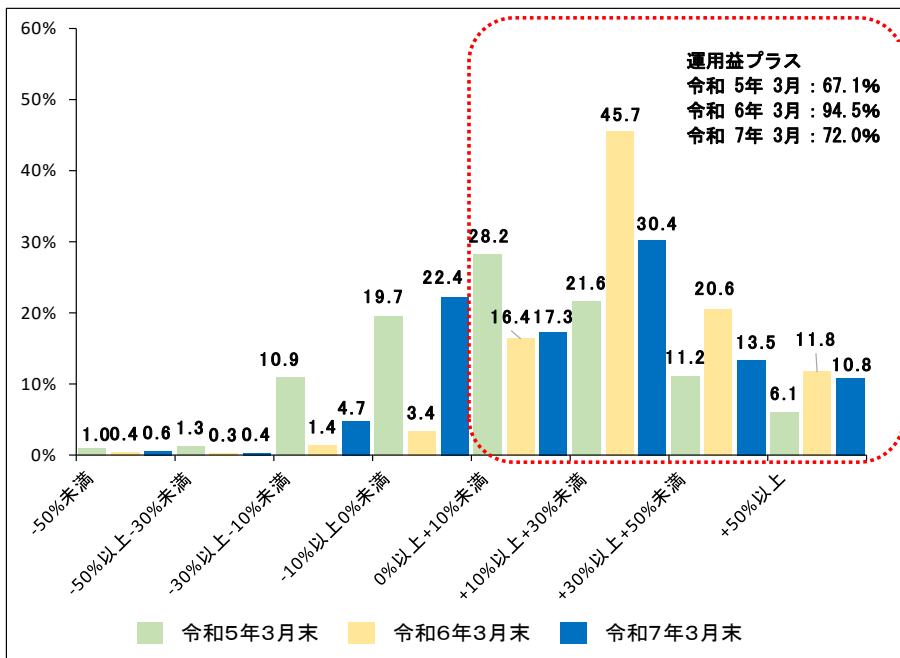
取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

③ 投資信託の運用損益別顧客比率（共通KPI）

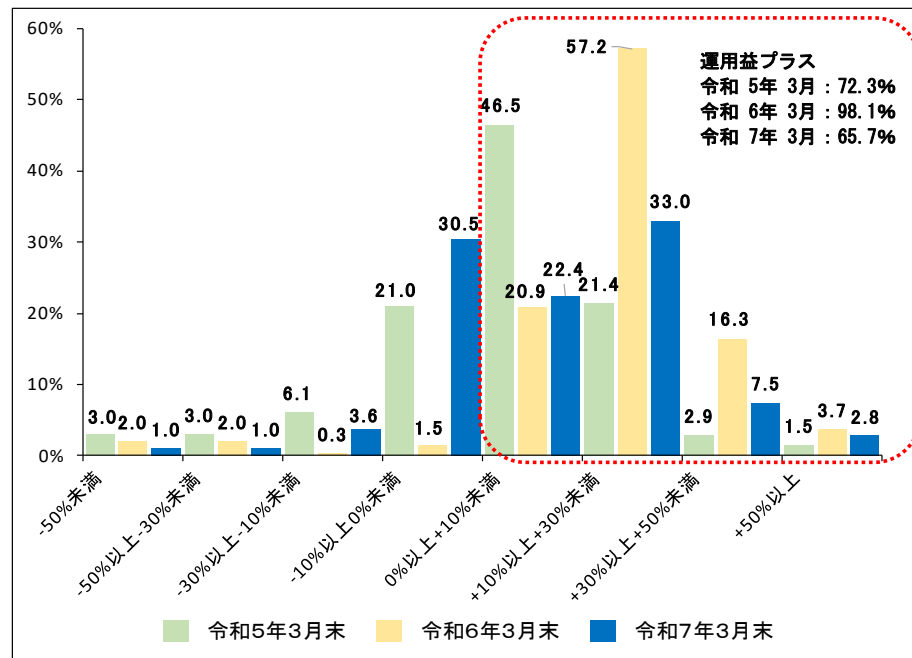
・令和7年3月末基準で、投資信託を保有されているお客様の運用損益がプラスとなった比率は、72.0%となりました。

また、令和6年度に新たに投信自動積立契約を開始されたお客様が足元の相場急落を受けて運用損となったことを主因に、投資信託自動積立サービスを契約されているお客様の運用損益がプラスとなった比率は、65.7%となりました。

【投資信託の運用損益別顧客比率（共通KPI）】



【(参考)投信自動積立契約先の運用損益別顧客比率】



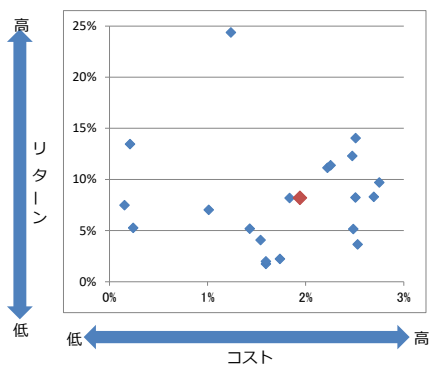
取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

④ 投資信託の預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（共通 K P I）

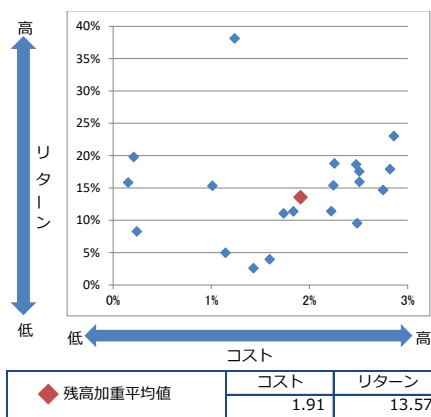
・ 令和 7 年 3 月末基準における投資信託の預り残高上位 20 銘柄の平均コストは 1.89%、平均リターンは 19.60%、平均リスクは 16.34%となりました。

【投資信託の預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（共通 K P I）】

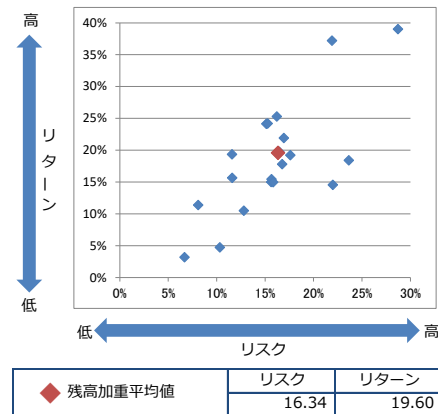
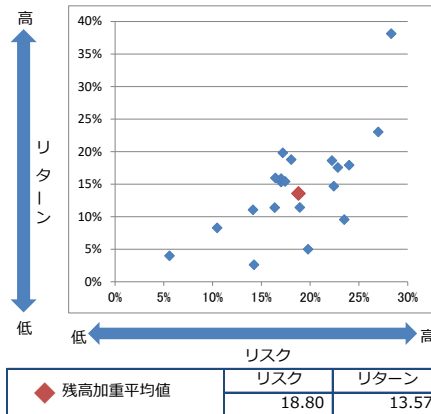
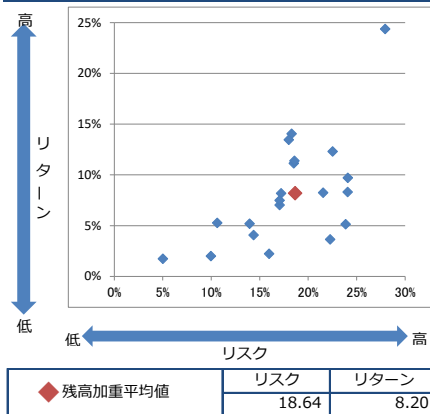
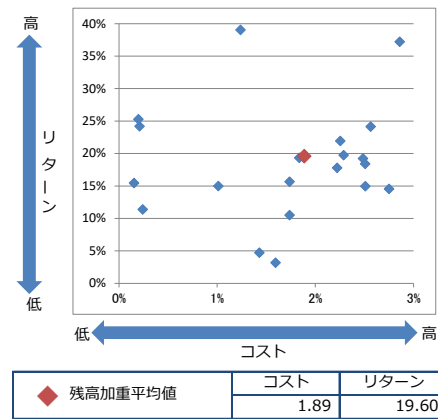
〈令和 5 年 3 月末基準〉



〈令和 6 年 3 月末基準〉



〈令和 7 年 3 月末基準〉



取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

【投資信託の預り残高上位20銘柄（令和7年3月末基準）（共通KPI）】

（単位：％）

No	銘柄名	コスト	リターン	リスク
1	ひふみワールド+	2.29	19.75	16.47
2	ダイワ・US-REIT・オープン（毎月決算型）Bコース（為替ヘッジなし）	2.22	17.80	16.77
3	インベスコ世界厳選株式オープン＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）（世界のベスト）	2.56	24.15	15.12
4	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド（毎月決算型）（ラッキー・カンントリー）	2.49	19.23	17.61
5	たんぎん世界好配当株式ファンド（毎月分配型）（ワールド・ドリーム）	1.84	19.34	11.58
6	ひふみプラス	1.74	10.50	12.80
7	次世代米国代表株ファンド（メジャー・リーダー）	2.26	21.92	16.93
8	iFree 外国株式インデックス（為替ヘッジなし）	0.21	24.20	15.26
9	HSBCインド・インフラ株式オープン	2.86	37.21	21.91
10	FANG+インデックス・オープン	1.24	39.03	28.72
11	インデックスファンド225	1.01	15.00	15.62
12	iFree 日経225インデックス	0.15	15.44	15.65
13	明治安田米国中小型成長株式ファンド	2.75	14.55	21.98
14	明治安田外国債券オープン（毎月分配型）（夢実現（毎月分配型））	1.60	3.19	6.69
15	iFree S&P500インデックス	0.20	25.29	16.20
16	iFree 8資産バランス	0.24	11.39	8.08
17	明治安田J-REIT戦略ファンド（毎月分配型）（リート王）	1.43	4.72	10.32
18	のむらップ・ファンド（積極型）	1.74	15.64	11.61
19	JPMグローバル医療関連株式ファンド	2.51	14.97	15.82
20	次世代通信関連世界株式戦略ファンド（THE 5G）	2.51	18.41	23.64

※金融庁が公表した以下の基準に基づき算出しています。

コスト：当行販売手数料上限（消費税込み）の1/5と＋信託報酬率（消費税込み）の合計値

リターン：過去5年間のトータルリターン（年率換算）

リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）

取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

【指標（外貨建保険の共通KPI）】

外貨建保険の共通KPIの内容

1. 運用評価別顧客比率

外貨建保険を保有されているお客さまについて、基準日時点の保有外貨建保険にかかる購入時以降のリターンを算出し、運用評価別に顧客比率を示した指標です。

個々のお客さまが保有されている外貨建保険について、購入時以降どのくらいのリターンが生じているかを見ることができます。

2. 預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

契約後5年以上の外貨建保険の預り残高上位20銘柄について、銘柄毎および預り残高加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。

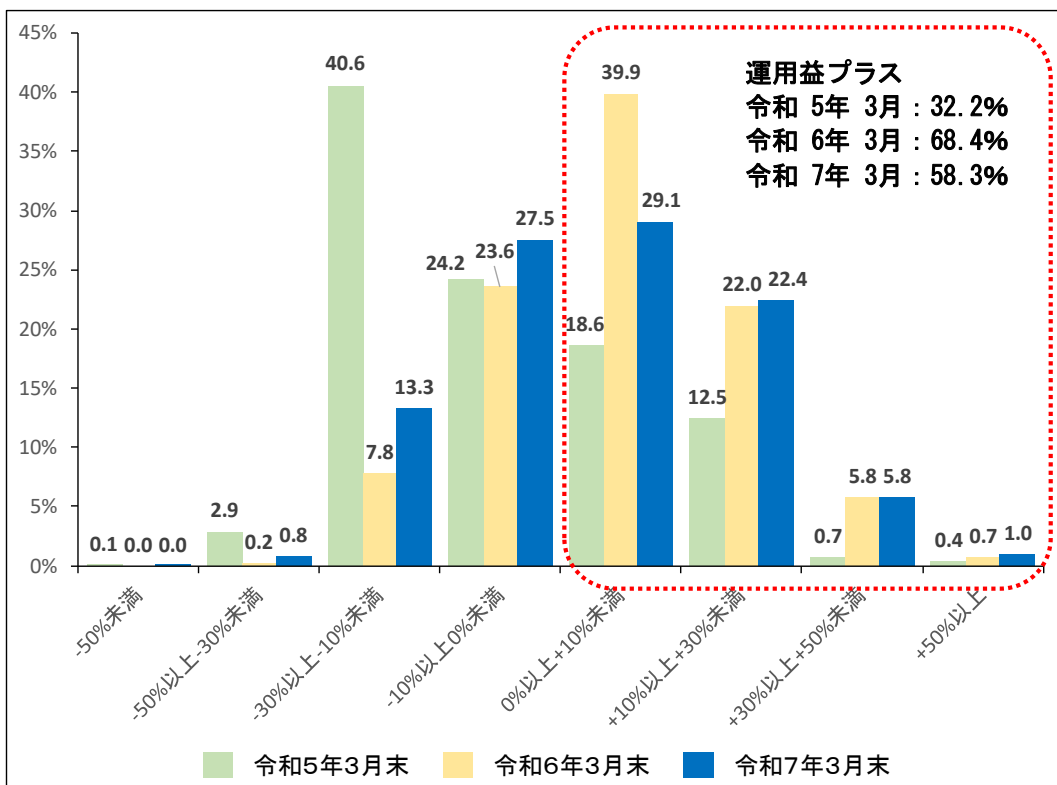
中長期的に、商品のコストに比べて、どのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに提供してきたかを見ることができます。

取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

⑤ 外貨建保険の運用損益別顧客比率（共通KPI）

・令和7年3月末基準で、外貨建保険を保有されているお客様の運用損益がプラスとなった比率は、円高や金利上昇などの影響により58.3%となりました。

【外貨建保険の運用損益別顧客比率（共通KPI）】



注1. 本データは保険会社が保有している当行分契約データから算出しています。

- 外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合が多くあります。
- 解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。
- 保険商品が有する保障機能は算出するリターンには反映されておらず、投資信託と単純に比較することはできません。

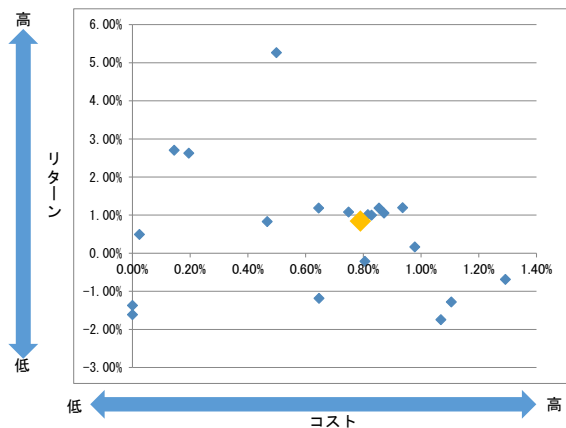
取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

⑥ 外貨建保険の預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン（共通 K P I）

・令和 7 年 3 月末基準における外貨建保険の預り残高上位 20 銘柄の平均コストは 0. 7 8 %、平均リターンは 2. 5 6 %となりました。

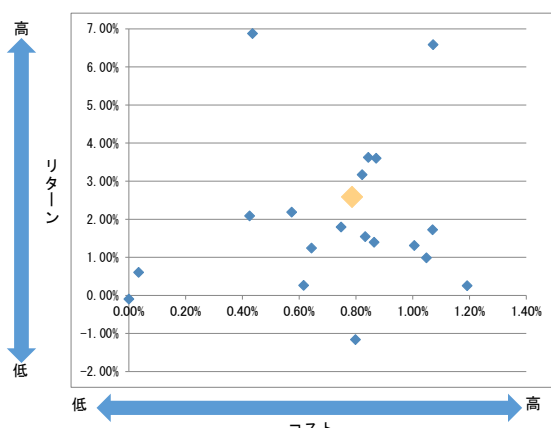
【外貨建保険の預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン（共通 K P I）】

〈令和 5 年 3 月末基準〉



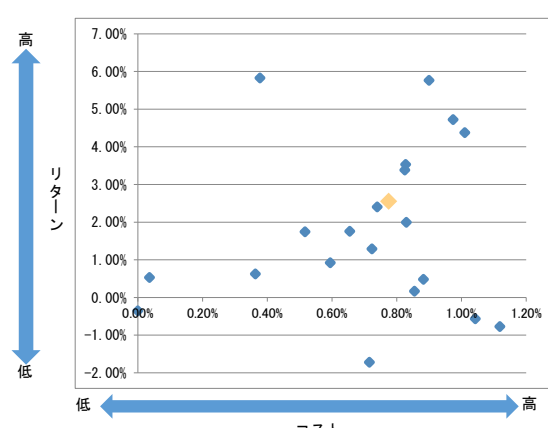
◆ 残高加重平均値	コスト	リターン
	0. 79%	0. 84%

〈令和 6 年 3 月末基準〉



◆ 残高加重平均値	コスト	リターン
	0. 79%	2. 59%

〈令和 7 年 3 月末基準〉



◆ 残高加重平均値	コスト	リターン
	0. 78%	2. 56%

取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

【外貨建保険の預り残高上位 20 銘柄（令和 7 年 3 月末基準）（共通 K P I）】

（単位：％）

No	商品名	コスト	リターン
1	サニーガーデンEX	0.83	3.53
2	たのしみ、ずっと	0.74	2.41
3	プレミアムプレゼント	0.83	1.99
4	サニーガーデン	0.52	1.75
5	ロングドリームGOLD3	1.01	4.38
6	しあわせ、ずっと	0.65	1.76
7	ビー ウィズ ユー プラス	1.04	△ 0.56
8	やさしさ、つなぐ	0.36	0.62
9	ロングドリームGOLD2	0.90	5.77
10	しあわせ、ずっと2	0.97	4.73
11	プレミアムストーリー2	0.82	3.39
12	ビーウィズユー	0.59	0.92
13	アップサイドプラス	1.12	△ 0.77
14	ダブルアカウント・グローバル	0.88	0.48
15	ロングドリームGOLD	0.72	1.29
16	ロングドリームプラス	0.00	△ 0.35
17	My年金外貨	0.38	5.83
18	ゴールデンエッグズ	0.85	0.17
19	エクセレントライフ	0.72	△ 1.72
20	ロングドリーム	0.04	0.53

※金融庁が公表した以下の基準に基づき算出しています。

コスト：保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率を基準日までの契約期間（月単位）で除したものと年間の継続手数料率を使用することで算出し、各契約のコスト率を、各契約の契約時点の一時払保険料（円換算）で加重平均

リターン：（基準日時点の解約返戻金額＋基準日時点の既支払金額－契約時点の一時払保険料）÷（契約時点の一時払保険料）を年率に換算し、各契約のリターン率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均（いずれも円換算）

取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

【（参考）説明資料「たんぎんで資産運用について考えてみませんか？」】

たんぎんで 資産運用について 考えてみませんか？

お客様の資産を、
目的に合わせて色分けしてみましょう！

大切なひとのためにのこすお金 (のこす)

日常生活で使うお金 (つかう)

万が一の場合にそなえるお金 (そなえる)

数年後に使う予定があるお金 (ためる)

当面使う予定がないお金 (ふやす)

資産を色分けするときのポイント

- 目的…資産の使用目的は決まっていますか？
- 期間…運用できる期間はどのくらいですか？
- 運用方針…目的ごとの運用方針を考えてみましょう！

お問い合わせは、但馬銀行……………支店（担当……………） TEL……………
またはお取引店までお電話ください。

(※利率は12月31日作成)

但馬銀行
TAJIMA BANK

地域とともに発展する

各商品の特徴を確認・比較してみましょう

それぞれの商品情報は、パンフレット等にて詳しくご確認いただけます。

	ためる	ためる	ためる	ふやす	ためる	ふやす	ふやす	そなえる	のこす	
	円定期預金	公共債	外貨預金	外国債券	投資信託	円貨	外貨	生命保険		
運用方針 (イメージ)	元本割れしないもので運用したい。	比較的安全なもので運用したい。 定期的に利息を受け取りたい。	円預金と比較して高い金利で運用したい。 少額から外貨で運用したい。	海外の国債や社債で運用したい。 利息を受け取りながら運用したい。	運用のプロが選んだ、世界の様々な資産への分散投資をしたい。 少額から運用したい。 積立で運用したい。	ファイアプランに応じて自分や家族に必要な保障を準備したい。 将来への資産形成とともに万が一にも備えたい。				
期間	1ヶ月～5年程度	2年～10年程度	1ヶ月～1年程度	1年～10年程度	数年～無期限	3年～一生				
主なリスク	低	低	低	低	中	低	中	中	高	
主なコスト	購入時・契約時 — 保有時・投資途中 — 換金時・解約時 —	—	為替手数料	為替手数料	申込手数料 — — —	契約時費用等	契約時費用-為替手数料等	保険料	解約時費用-為替手数料等	
コストイメージ										
特徴 (イメージ)	金融機関に期間を定めて預ける預金です。	国や地方公共団体が発行し、償還・利息を行う信用度の高い債券です。通常、利息は半年ごとに支払われ、満期日には額面金額で償還になります。	日本円を「外国の通貨」に換え預ける預金です。	発行元、通貨、発行場所のいずれかが外国に属する債券です。利率・発行額・償還日などの発行条件が決定しており、定期的な利息を受け取れる商品です。	多くの投資家から集めた資金を一つにまとめた、大きな資金として専門家が運用する商品です。	保障と資産形成を兼ね備えた商品です。				

主な運用商品のリスクとリターンイメージ

資産運用には3つの大原則があります

- 資産の分散**: リスクを抑えるため、種類や国・地域を分散させる方法です。
- 時間の分散**: 一定にまとめて購入するよりも複数回に分けることによりリスクを抑える方法です。
- 長期投資**: 短期での売買をせず、長い期間にわたって資産をそのまま持ち続ける方法です。

各種リスクの説明

- 為替変動リスク**: 為替相場の変動により、外貨資産の価値が変動する可能性があります。
- カントリーリスク**: 投資先国が政治的・経済的・社会的な不安定な状況に陥ることで、資産価値が下落する可能性があります。
- 株価変動リスク**: 株価の変動により、投資した外貨資産の価値が変動する可能性があります。
- 信用リスク**: 運用先国の債権者や運用機関の信用不安などにより、元本や利息の支払が滞り、元本がなくなるなどの可能性があります。
- 金利変動リスク**: 金利の変動により、債券価格が変動する可能性があります。
- 流動性リスク**: 必要に応じてすぐに現金化できず、売却する際に市場価格が下落する可能性があります。

※上記資料は、情報提供を目的とした一般的な説明を記載したものであり、特定の金融商品を推奨または勧誘するものではありません。(運用の専門家等についてもあわせてご確認ください。)また、商品購入の際には必ず、お客様の資産運用に際しての必要事項を確認の上、ご意向に沿った商品をご案内させていただきます。

取組方針 2. 手数料等の明確化、重要な情報の分かりやすい提供

- ・お客さまにご負担いただく手数料等の費用が、どのようなサービスに対する対価であるかを含め、各種手数料の透明性の向上を図るとともに、手数料体系の分かりやすい情報開示に努めてまいります。
- ・お客さまへの商品提案の際には、多様な商品を比較することが容易になるように配慮した「重要情報シート」等分かりやすい資料を用いて、比較可能な複数の商品を提案するなど、商品特性・リスク特性・手数料等投資判断に影響を及ぼす重要な情報について、分かりやすく丁寧な説明に努めてまいります。
- ・複数の金融商品をパッケージにした商品の勧誘・提案にあたっては、運用対象として比較可能な他の金融商品を含めて提案し、お客さまにとって最も有効な運用方法を判断いただけるよう、情報提供に努めてまいります。

<取組状況>

1. お客さまにご負担いただく手数料の説明にあたっては、商品パンフレットや目論見書等のほか、「重要情報シート」（個別商品編）を活用し、より一層お客さまへの重要な情報の分かりやすい提供に努めております。
2. お客さまとの対面でのご提案にあたっては、タブレット端末等のITツールを活用した運用シミュレーションや商品比較、ポートフォリオ提案など視覚的に分かりやすい情報提供に取り組んでまいります。（令和7年6月より「WeathAdvisor」取扱開始）
また、当行ホームページ上に、投資信託の基準価額、手数料等のご案内に加え、商品間の比較、収益率・シャープレシオなど運用パフォーマンスが良好な商品順に表示できるツール（Web Asset Manager）を提供しており、対面・非対面問わずお客さまの投資判断に必要な情報の提供に努めております。

取組方針 2. 手数料等の明確化、重要な情報の分かりやすい提供

【（参考）重要情報シート】

①金融事業者編

一定の投資性商品の販売・商品仲介に係る
重要情報シート（金融事業者編）

1 当行の基本情報（当行がお客さまに金融商品の販売または販売仲介をする者です）

社名	株式会社 但馬銀行	
登録番号	近畿財務局長（登録）第14号	
加入協会	日本証券業協会	
当行の概要を記載したウェブサイト	https://www.tajimabank.co.jp	

2 取扱商品（当行がお客さまに提供できる金融商品の種類は次のとおりです）

円貨預金	<input type="radio"/>	円建て債券	<input type="radio"/>
外貨預金	<input type="radio"/>	外貨建て債券	<input type="radio"/>
投資信託	<input type="radio"/>	特殊な債券（仕組債等）	<input checked="" type="radio"/>
保険商品（投資性なし）	<input type="radio"/>	ラップ口座	<input checked="" type="radio"/>
保険商品（投資性あり）	<input type="radio"/>	ETF、ETN	<input checked="" type="radio"/>
国内株式	<input checked="" type="radio"/>	REIT	<input checked="" type="radio"/>
外国株式	<input checked="" type="radio"/>	その他上場商品	<input checked="" type="radio"/>

上記以外の商品等 個人向け国債・NISA・つみたてNISA・iDeCo等もご用意しております。

※1野村證券の金融商品仲介口座での取扱

3 商品ラインナップの考え方（商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです）

- お客さまのライフプランの実現にお役に立てるよう、お客さまの様々なニーズにお応えするために必要な商品を取り揃えています。
- お客さまにふさわしい金融商品・サービスを提供する観点から、想定されるニーズ、商品の分かりやすさ、手数料水準、リスク・リターン等を踏まえて事前検証を十分行ったうえ、定期的に投資信託や生命保険の新商品を導入するとともに、既存商品の見直しを行い、商品ラインナップの整備に取り組んでおります。
- 投資環境やお客さまのニーズの変化等に適切に対応し、中長期的な資産形成に資する商品ラインナップになるよう努めております。

4 苦情・相談窓口

当行お客さま相談窓口	0120-164-230 (受付時間：平日 9:00～17:00)
全国銀行協会相談室	0570-017109 (03-5252-3772) (受付時間：平日 9:00～17:00)
	証券・金融商品あっせん相談センター（FINMAC） 0120-64-5005 (受付時間：平日 9:00～17:00)
加入者協会共通の相談窓口	03-3286-2648 (受付時間：平日 9:00～17:00)
	生命保険協会 生命保険相談所
金融庁金融サービス利用者相談室	0570-016811 (03-5251-6811) (受付時間：平日 10:00～17:00)

2022年7月現在
 但馬銀行

②個別商品編（抜粋）

但馬銀行

重要情報シート（個別商品編）
ひふみワールド+

使用開始日：2024年06月08日

1 商品等の内容（当行は、組成会社等の委託を受け、お客さまに商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	ひふみワールド+
組成会社（運用会社）	レオス・キャピタルワークス株式会社
販売総代理店	レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品の目的・特徴	受益者の長期的な資産形成に貢献するために、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、マザーファンドを通じて日本を除く世界各国の株式等に投資することにより増殖運用を行います。日本を除く世界各国の株式等を主要な投資対象とし、成長が早いと判断される銘柄を中心に選定して投資します。株式の購入比率は投資に当たって変動します（投資比率は最大90%未満まで保有することが可能な仕組みです）。株式の購入履歴については、原則として為替ヘッジを行いません。
商品組成に際する事務者が設定する購入額	○元本割れリスクを許容する方 ○中長期での資産形成を目的とする方 (たとえば、株式の成長を期待したいとお考えの方、つみたてによる資産形成をお考えの方、投資を通じて未来を豊かにしたいとお考えの方)
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	金融商品取引法第37条6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

以下のような質問があれば、お問い合わせください。
 ・あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという判断はありますか？
 ・この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けられることができますか？
 ・この商品が複数の商品を含められるものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがありますか？

2 リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としているため、市場や為替の動きによる価格変動のほか、投資先などの経験や債務不履行による影響を受け、元本欠損が生じる可能性があります。当ファンドの投資にあたっては、主に以下のリスクを伴います。（詳しくは目録見書をご覧ください。）
 価格変動リスク/流動性リスク/信用リスク/為替変動リスク/コントリビューション（エマージング市場に関するリスク）

【参考】過去1年間の収益率 35.4% (2024年5月末現在)

【参考】過去5年間の収益率 平均19.7% 最低-13.7% (2022年12月) 最高66.8% (2021年3月)
 (2020年12月～2024年5月の各月末における直近1年間の数字) ※設定日以降のデータで表示しています。

※損失リスクの内容の詳細は交付目録見書の「投資リスク」、運用実績の詳細は「運用実績」に記載しています。

以下のような質問があれば、お問い合わせください。
 ・投資信託のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
 ・相対的にリスクが低い類似商品があれば、その商品についても説明してほしい。

3 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

購入時に支払う費用（販売手数料など）	申込受付日の翌営業日の基準価額に対して、下記の手数料率をお申込金額に乘以得た金額とします。 なお、お申込手数料には消費税等相当額がかかります。 1億円未満：3.3%（税込3.6%） 1億円以上：1.98%（税込2.1%）
継続的に支払う費用（信託報酬など）	運用管理費用（信託報酬）：ファンドの純資産総額に対して年率1.628%（税込1.48%）以内の率を乗じた額 その他費用・手数料が実費でファンドから支払われます。これらは事前に利率を表示することができません。
運用成績に応じて支払う費用（成績報酬など）	ありません。

※上記以外に生ずる費用を含めて、詳細は交付目録見書の「ファンドの費用」に記載しています。

以下のような質問があれば、お問い合わせください。
 ・この投資信託に1億円を投資したら、実際にどのくらい費用がかかるのか説明してほしい。
 ・費用が安い類似商品があれば、その商品についても説明してほしい。

— 1 — 但馬銀行

取組方針 2. 手数料等の明確化、重要な情報の分かりやすい提供

【（参考） WealthAdvisor画面】※令和7年6月より取扱開始

Wealth Advisor

668円78銭を付けている。その後は、安値近辺でのみみ合い商状となっている。現地15日の米国株式市場は、キング!

ファンド情報	アドバイスツール	マーケット情報
 <p>カテゴリ別に情報が閲覧できます。 ファンド比較も行えます。</p> <p>▶ ファンド一覧</p>	 <p>はじめてファンドを購入されるお客様に向けたポートフォリオ提案ツール</p> <p>▶ ポートフォリオ作成</p>	 <p>為替や各種指数などマーケットを把握できる情報が閲覧できます。</p> <p>▶ マーケット情報</p>
 <p>投資信託からランキングが閲覧できます。</p> <p>▶ ランキング一覧</p>	 <p>既にファンドをお持ちのお客様に向けたファンド見直し提案ツール</p> <p>▶ リバランス提案</p>	<p>▶ 全ファンド検索</p> <p>▶ ライフプラン</p> <p>▶ iDeCo・NISAご案内</p> <p>▶ 読み物コンテンツ</p> <p>▶ 資産運用のご案内</p>

【商号等】株式会社 ○○銀行 登録金融機関 ○○財務局長（登金）第○号 【加入協会】日本証券業協会
投資信託をご購入の際は、各ファンドの「投資信託説明書（交付目録見書）」の内容をよくお読みください。
Copyright Wealth Advisor Co., Ltd. All rights reserved.
お問い合わせ先 0120-989-687

取組方針 2. 手数料等の明確化、重要な情報の分かりやすい提供

【（参考） Web Asset Manager画面】

①ファンド一覧（PC画面）

株式会社 但馬銀行 登録金融機関

但馬銀行

ファンド一覧

基準価額 | 手数料・取引方法 | 分配金・情報BOX | リスク・リターン

お取り扱い | 販売停止

すべて | 株式（国内） | 株式（海外） | 債券（国内） | 債券（海外） | バランス | REIT（国内） | REIT（海外） | その他

132件 1件～100件を表示

選択したファンドを比較する

お気に入りのみ表示 ON OFF

株式投信・公社債投信

比較	基準価額 (円)	前日比 (%)	累積リターン (%)							チャート	純資産額 (億円)	購入/ お気に入り
			1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年				
株式（国内） つみたてNISA 大和												
i Free 日経225インデックス												
	21,783 (08/31)	+0.89 (+192円)	-0.07	15.11	22.72	21.81	61.05	61.52		519		
株式（海外） つみたてNISA 大和												
i Free 外国株式インデックス（為替ヘッジなし）												
	28,723 (08/31)	+0.53 (+152円)	1.50	14.54	21.17	20.08	89.32	101.32		373		

②ファンド一覧（スマホ画面）

但馬銀行 投信用語集 WEM+ Web Asset Manager

ファンド一覧

データ基準日 2024年6月末日

基準価額

お取り扱い | 販売停止

すべて | 株式（国内） | 株式（海外） | 債券（国内）

お気に入りのみ表示 ON OFF

基準価額 | 手数料・取引方法 | 分配金 | リスク・リターン

128件 1件～100件を表示

並び替えなし

株式投信・公社債投信

比較する 購入

株式（国内） つみたて投資枠対象

i Free 日経225インデックス

大和

基準価額(07/29) 26,096円 純資産額 811億円

前日比: +2.11%(+539円)

1ヵ月リターン	3ヵ月リターン	6ヵ月リターン
2.91%	-1.89%	19.22%

取組方針3. お客さまにふさわしい金融商品・サービスの提供

・お客さまにふさわしい金融商品・サービスを提供する観点から、想定されるお客さま像やニーズ、商品の分かりやすさ、手数料水準、リスク・リターン等を踏まえて事前検証を十分行ったうえ、投資信託・生命保険の新商品の導入や定期的な既存商品の見直しを行い、商品ラインナップの整備・充実に取り組んでまいります。

なお、商品性が複雑で、中長期的な資産形成に適さない商品は取扱わない方針としており、仕組債・仕組預金は取扱いしておりません。

・お客さまの金融知識、取引経験、財産の状況、投資目的等をしっかりと伺いたうえで、お客さまの属性やニーズに応じた最適な金融商品・サービスの提供に努めてまいります。

なお、ご高齢のお客さまに対しては、複数回の面談に加え、複数の職員での対応やご家族に同席いただくことで、より納得感のあるご提案となるよう努めてまいります。

・資産形成、資産運用等にかかる「お客さま向けセミナー」・「職域セミナー」を定期的開催し、お客さまの理解を深めていただく情報提供に努めてまいります。

・商品販売後も、安心して取引していただけるよう、お客さまのニーズや市場環境の変化に応じて、お客さまの運用状況や市場環境等の情報提供を適時・的確に行い、お客さまの投資判断のサポートに努めてまいります。特に、ご高齢のお客さまに対しては、担当している営業職員の上席者などから、商品内容のご理解状況や運用方針の変化の有無などの確認を含めてフォローアップを行い、よりきめ細やかな情報提供に努めてまいります。

・販売会社である当行と商品組成会社間で定期的に情報連携を行い、顧客の最善の利益に資する販売体制を構築いたします。

取組方針3. お客さまにふさわしい金融商品・サービスの提供

<取組状況（1/2）>

1. 令和6年4月より、生命保険募集にかかる販売体制について、一般、専門・変額及び外貨建保険の全ての販売資格を有した職員のみ取扱できるよう見直しし、お客さまの属性やニーズに応じた最適な金融商品・サービスの提供を行えるよう努めております。
2. 当行が想定するお客さまへ適切に販売されているか、また、商品パフォーマンス分析等の定期的な検証を行うことを行内規程に明記するなど、お客さまの最善の利益に資するための適切な金融商品管理体制の確立を図っております。

なお、令和6年度においては、投資信託の毎月分配型海外株式ファンドや国内株式を主な投資対象とした新商品を追加し、あわせて既存商品の運用パフォーマンス等を踏まえ、販売チャネル（店頭用・インターネット専用）の見直しを行いました。

3. 資産形成をテーマとした「お客さま向けセミナー」を定期的に開催しており、お客さまの金融リテラシーの向上支援ならびに豊かで安心できるくらしの実現に向けた情報発信に努めました。

また、ご要望に応じて、職場でのセミナーも開催しております。

4. ご高齢のお客さまへの商品提案にあたっては、複数の職員での対応やご家族に同席いただくことで、より納得感のあるご提案となるよう努めております。
5. 商品販売後においても、安心して取引していただけるよう、定期的なフォローアップに加え、お客さまのニーズや市場環境の変化に応じて、お客さまの運用状況や市場環境等の情報提供に努めております。

また、令和6年8月の主要な株価指数が急落した相場急変時においては、主に投資信託を保有されているお客さまに対して速やかにフォローアップを実施しました。

引き続き、お客さまに寄り添った適時適切なフォローアップに努めてまいります。20

取組方針 3. お客様にふさわしい金融商品・サービスの提供

<取組状況 (2/2) >

6. 販売会社である当行と商品組成会社との間において、双方に都度実施している情報交換に加え、令和7年度より、定期的に情報連携を行い、販売する商品が想定顧客に対して適切な販売ができているかなど、プロダクトガバナンス態勢の整備ならびに販売・管理態勢の更なる強化を図ってまいります。

なお、当行は、投資信託や保険の商品組成に携わっておりません。

取組方針3. お客様にふさわしい金融商品・サービスの提供

⑦ フォローアップの実施状況

- ・商品販売後も安心して取引していただけるよう、お客様のご年齢や運用状況、市場環境の変化に応じて、適時・的確に情報提供を行い、お客様の投資判断のサポートに努めております。
- ・特に、ご高齢のお客様に対しては、健康状態やご家族の状況に加え、購入・契約目的や資産運用に関する方針が当初購入・契約時から変化がないかなど、よりきめ細やかな確認を行うよう努力しており、リスク性商品（投資信託、生命保険、外国債券）を保有されているお客様に対し、一定の条件のもとに実施しているフォローアップの実施率は99%以上となっています。

【フォローアップの実施状況】

	対象先	実施率
令和4年度	・投資信託、生命保険、外国債券の販売先（75歳以上の高齢者）	99.39%
令和5年度	・投資信託、生命保険の販売先（75歳以上の高齢者） ・NISA口座保有先（一定条件あり）	99.94%
令和6年度	・投資信託、生命保険の販売先（75歳以上の高齢者） ・ターゲット型保険（※）契約先（一定条件あり） ・投資信託の販売先（一定条件あり） （※）解約返戻金額が顧客の設定した目標値に到達した場合、自動的に円貨で運用成果を確保し、円建の終身保険等に移行する商品	99.44%

※リスク性金融商品（投資信託、生命保険、外国債券）を保有されているお客様に対し、高齢者や損失発生先など、一定の条件のもと半年に1回の周期でフォローアップを実施しています。

※相場急変時には定期的なフォローアップに加え臨時でフォローアップを実施しています。

取組方針 4. 利益相反の適切な管理

お客様の利益を不当に害すること、例えばお客様の意向に沿わない手数料の高い商品・サービスや特定の会社の商品・サービスを優先して提案することのないよう、モニタリング等を通じて、お客さまとの利益が相反する可能性を正確に把握・管理し、適切に業務を遂行してまいります。

<取組状況>

1. 当行は、法令等および顧客保護等管理方針に従い、お客様の利益が不当に害されることのないよう、利益相反のおそれのある取引を管理する体制整備を行うため、「利益相反管理方針」を策定し、ホームページ（URL <https://www.tajimabank.co.jp/rieki>）に概要を公表しております。
2. 「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に基づき、お客様の多様なニーズにお応えできるよう多様かつ良質な商品ラインナップを取り揃えております。
3. 現在取扱している商品の組成会社と当行間において、人的関係ならびに資本関係はございません。
また、令和6年度において、特定の投信会社または保険会社の販売偏重は見られませんでした。
4. 当行が提供する商品・サービスについて、お客さまに分かりやすい情報提供が行えるよう、主に販売担当者を対象として「重要情報シート」の活用にかかる研修を実施しました。
5. 営業部門（第1線）ならびに営業部門から独立した管理部門（第2線）において、合理的な理由なく手数料の高い商品・サービスを優先して提案・販売していないかなど、顧客説明にかかるモニタリングを定期的実施し、お客さまとの利益が相反する可能性を把握・管理しております。

取組方針 4. 利益相反の適切な管理

⑨ 投資信託・生命保険商品ラインナップ

- ・令和6年度においては、販売状況の検証を行い、投資信託の取扱商品ラインナップを128商品から126商品、生命保険の取扱商品ラインナップを38商品から37商品に見直しを行いました。
今後も定期的に販売状況の検証を行い、商品ラインナップの拡充・整備に努めてまいります。

【投資信託商品ラインナップ(令和7年3月末基準)】

投資対象	取扱商品数	取扱商品比率
国内債券	2	1.5%
国内株式	22	17.4%
海外債券	21	16.6%
先進国	11	8.7%
ハイイールド	2	1.5%
新興国	8	6.3%
海外株式	42	33.3%
先進国	30	23.8%
新興国	12	9.5%
国内REIT	5	3.9%
海外REIT	10	7.9%
バランス型	21	16.6%
その他	3	2.3%
合計	126	100.0%

【生命保険商品ラインナップ(令和7年3月末基準)】

	保険種類	取扱商品数	取扱商品比率
一時払い	円建て	3	17.6%
	定額終身保険	2	11.7%
	変額終身保険	1	5.8%
	外貨建て	14	82.3%
	定額個人年金	5	29.4%
	変額個人年金	0	0.0%
	養老保険	0	0.0%
	定額終身保険	9	52.9%
合計		17	100.0%

	保険種類	取扱商品数	取扱商品比率
平準払い	定額個人年金	2	10.0%
	終身保険	3	15.0%
	収入保障保険	2	10.0%
	変額保険	2	10.0%
	医療保険	6	30.0%
	介護保険	1	5.0%
	就業不能保険	1	5.0%
	がん保険	3	15.0%
	合計		20

取組方針 4. 利益相反の適切な管理

【（参考）投資信託販売上位 10 商品（令和 6 年度）】

順位	投信会社名	商品名	投資対象	毎月分配	販売比率
1	インベスコ・アセット・マネジメント株式会社	インベスコ世界厳選株式オープン〈為替ヘッジなし〉(毎月決算型)	海外株式	○	13.3%
2	大和アセットマネジメント株式会社	米国株式インデックス(S&P500)	海外株式		9.8%
3	レオス・キャピタルワークス株式会社	ひふみワールド+	海外株式		9.4%
4	HSBCアセットマネジメント株式会社	HSBCインド・インフラ株式オープン	海外株式		7.1%
5	大和アセットマネジメント株式会社	FANG+インデックス・オープン	海外株式		6.9%
6	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	次世代米国代表株ファンド	海外株式		6.7%
7	日興アセットマネジメント株式会社	インデックスファンド 225	国内株式		4.5%
8	大和アセットマネジメント株式会社	iFreeS&P500インデックス	海外株式		4.1%
9	大和アセットマネジメント株式会社	iFree外国株式インデックス(為替ヘッジなし)	海外株式		4.0%
10	大和アセットマネジメント株式会社	iFree日経225インデックス	国内株式		3.3%

取組方針 4. 利益相反の適切な管理

【（参考）一時払保険販売上位 10 商品（令和 6 年度）】

順位	保険会社名	商品名	通貨	種類	販売比率
1	太陽生命保険	長生きMy介護	円貨	介護	24.9%
2	三井住友海上プライマリ生命保険	しあわせ、ずっと3	外貨	定額終身	19.0%
3	メットライフ生命保険	サニガードEX	外貨	定額終身	14.1%
4	T&Dフィナンシャル生命保険	ハイブリッド あんしんライフ	円貨	変額終身	12.5%
5	日本生命保険	ロングドリームGOLD3	外貨	定額終身	11.9%
6	第一フロンティア生命保険	プレミアプレゼント3	外貨	定額終身	7.0%
7	日本生命保険	夢のかたちプラス毎年遡増型	円貨	定額終身	3.0%
8	三井住友海上プライマリ生命保険	やさしさ、つなぐ2	外貨	定額終身	1.9%
9	第一フロンティア生命保険	プレミアカレンシー3	外貨	定額個人年金	1.5%
10	メットライフ生命保険	ビーウィズユープラスII	外貨	定額終身	1.1%

取組方針 5. 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

- ・ 定期的な研修等を通じて、お客さま本位の業務運営を実践するよう行内に浸透させるとともに、高度な専門性と倫理観を持ち、誠実かつ公正に業務を遂行する人材の育成に努めてまいります。
- ・ お客さまの安定的な資産形成に資するため、「トレーニー制度」などの職員に対する教育・研修体制の充実に努めるとともに、公的資格取得を奨励するなど、コンサルティング能力を有する専門性の高い人材の育成に努めてまいります。
- ・ お客さまの安定的な資産形成に資する営業活動を評価するため、投資信託残高の増加、投資信託自動積立期中振替額、NISA口座数、アフターフォロー実施率にかかる評価項目を組み入れるなど、業績評価体系の整備に努めてまいります。

<取組状況>

1. お客さまの資産形成やライフステージに応じたふさわしい金融商品・サービスを提案できるよう、商品知識の習得やコンサルティング提案スキルの向上、コンプライアンスの遵守を目的とした研修会を定期的に行い、職員に対する教育・研修体制の充実に努めております。
2. 少人数制の「トレーニー制度」やスキルアップ研修会の開催、様々な公的資格取得の奨励などにより、コンサルティング能力を有する専門性の高い人材の育成に努めております。
3. 「NISA口座数・NISA残高」、「アフターフォロー実施率」、「顧客本位に悖る行為の減点」を業績評価項目に組み入れるなど、お客さまの安定的な資産形成に資する業績評価体系の整備に努めております。

取組方針5. 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

⑩ 教育・研修の実施状況

- ・お客様の資産形成やライフプランに応じたお客様にふさわしい金融商品・サービスを提案できるよう、商品知識の習得や、コンサルティング提案スキルの向上、コンプライアンスの遵守等を目的とした研修を計37回開催しました。
- ・全職員を対象として、「お客様本位の業務運営に関する取組方針および取組状況」の公表内容等の周知ならびに預かり資産販売に携わる職員を対象として、顧客本位の業務運営の実践・定着や適切な「重要情報シート」の活用方法の習得を目的とした研修会を実施しました。

【教育・研修の実施状況（令和6年度）】

実施内容	実施回数
商品知識の習得を目的とした研修	15
コンサルティング提案スキルの向上を目的とした研修	16
顧客本位の業務運営の実践、コンプライアンスの遵守を目的とした研修	5
「重要情報シート」の適切な活用の習得を目的とした研修	1